



発行 今井町並み保存会
 発行日 令和3年1月1日
 電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
 ◇ご意見・ご感想は
 今井まちづくりセンターまで

新年を迎えて

今井町並み保存会 会長 若林 稔

令和3年の新年おめでとうございます。令和2年の新年には、まさかこんな荒れた一年間を迎えるようになるとは、誰も予測しなかったと思います。

- ・天候不順による風水害の被害
- ・度重なる地震被害
- ・そして極めつけは世界中を震撼させているコロナウイルスの蔓延です。

昨年は今井宗久生誕500年の記念の年で、活動の骨として構築し、町の皆さんに何らかの形で参加していただいで：と大きな夢を持っていましたが、コロナで実行できませんでした。

唯一、春日神社境内で縮小催行した「今井灯火会」と、奈良県も主催メンバーの「はならあと今井」だけが開催出来ました。

環境問題をテーマに開催した「はなら

あと今井」は、町中がイベントを自粛しようという方針の中でしたが、徹底したコロナ対策のもとで催行させていただき、関係各位のご理解・ご協力を得て無事終えることが出来ました

明けて新年は、引き続きコロナの動向に合わせた活動が先行するかと感じています。

今井町は本当に恵まれたところに先人たちが町を築いてくれて、ほとんどの災害は避けることが出来てきました。

コロナも今のところ町からの罹災は聞き及んでいませんが、誰が罹災しても不思議でない状況にあります。

コロナを拒否しなければいけないし、拒否するために人の交流まで制約しては経済が成り立ちません。

難しいところですね！
世間の展望は観光の復興の視線がほとんどで、最盛期時代の観光復興に向かっていきます。

また、旅行主体の数に頼り、どこかかと傍若無人に町の中を行き来する観光の促進でいいのでしょうか。

今井町は、この機会に人数に頼る観光の入れ込みから質・少数の観光であって

も、来てくれて有難う、来てよかった！と言える方向にシフトを変えて、「観光・視察・教育で来町↓リピーターになる↓住人・商い」に繋がる という永いスパン

の町づくりを画策し、今井町にも近い将来に必ずやって来る、少子高齢化により派生する空き家の対策、に繋ぐことが出来る施策を考えていける年にしたいと祈念しています。

ユネスコ無形文化遺産

「伝統建築工匠の技」登録

12月6日の読売新聞を見て、びっくりしました。「鬼滅の刃」の最終巻の一面広告が載っていたからではありません。(ちなみに鬼滅の刃は12月4日でした)

文化庁・宮内庁・読売新聞が進めている日本の伝統建築を紹介する「紡ぐプロジェクト」の特集記事の一面を重要文化財今西家の建築模型が飾っていたからです。千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館で所蔵・展示さ



れている今西家住宅の建築模型は模型専用で作られた親指大のカンナなどごくミニサイズの大工道具を使って、実物同様に作られているそうです。(紡ぐプロジェクトホームページより)

このような木造建造物を受け継ぐための17の伝統技術が「伝統建築工匠の技」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

国の選定保存技術のうち今回、登録された17の技術は「建造物修理」「建造物木工」「檜皮葺・柿葺」「茅葺」「檜皮採取」「屋根板製作」「茅採取」「建造物装飾」「建造物彩色」「建造物漆塗」「屋根瓦葺(本瓦葺)」「左官(日本壁)」「建具製作」「畳製作」「裝潢修理技術」「日本産漆生産・精製」「縁付金箔製造」です。

今井の町並みを維持していくために、今後も伝統技術者の養成と資金面の援助が必要になってくるでしょう。

紡ぐプロジェクト・イベント

「日本のたてもの」

—自然素材を活かす伝統の技と知恵—

12月8日～1月11日

国立科学博物館

12月10日～2月21日

国立近現代建築資料館

12月24日～2月21日

東京国立博物館表慶館

今井町の年末・年始

12月30日(水)

今井町年末特別警戒

※今年は人数を制限して開催します。

12月31日(木)

○稱念寺 除夜の鐘

午後11時45分～午前0時45分

※マスク・手袋着用でお願いします。

御坊さんのぎんなん配ります。

例年の甘酒は中止します。

○順明寺 除夜の鐘

午後11時45分～午前0時45分

※マスク着用でお願いします。

消毒液は準備します。

午後11時30分と午前0時に年末年始のお勤めがあります。

1月8日(金)

○春日神社 えびす祭り

午前10時～午後3時

1月14日(木)

○春日神社 大とんど

午後1時～午後4時

※奈良県内でも新型コロナウイルス感染が拡大しています。体調がすぐれない方は外出を控えましょう。



本豊田家 ドールハウス展示



いまいは今の令和2年8月号で紹介した、ドールハウス作家のシック・スカートさんの新作「本豊田家」のドールハウスの向かいの本豊田家で展示されています。シック・スカートさんにお話をお伺いしたところ、表の柵を一本完成させるのに3時間もかかること。また本瓦葺きの瓦は、厚紙を切って2千枚を一つずつ作成したということです。中の箱階段など細部にこだわった作りに驚かされました。

本豊田家の見学は紙半豊田記念館の入館料が必要です。年始は1月2日から開館されています。

紙半豊田記念館

◎開館時間 10時30分～16時30分 (入場は16時まで)

◎入館料 一般/300円

高校生/150円

小中生/無料

◎電話 24・0348